久宝寺地区 かきつばた

発　行　者
久宝寺小学校区まちづくり協議会
会長　笠原　彰
久宝寺地区福祉委員会
委員長　佐野　公一
八尾市北久宝寺２丁目１番１号

許麻の里
沢辺に生ふる
かきつばた
君か手毎に
水やかかさん

“いつまでも心豊かに住み続けたいまち 久宝寺”を!!
～みんな一人ひとりが まちづくりの主役となって～





地域のつながりを力に、これからも！

早いもので今年も、残すところわずかとなりました。

この下半年間、「好きやねん久宝寺まつり」や「市民スポーツ祭」をはじめ、さまざまな行事や活動を実施し、多くの皆さまにご協力、ご参加をいただきました。

改めまして、心より感謝申し上げます。

今号では、表面に恒例の二大イベントを中心に、裏面では、7月に開催した「住民懇談会」を取り上げ、テーマに関連した行事や活動を紹介しました。

これからも〝いつまでも心豊かに住み続けたいまち〟、誰もが安心して暮らせる、笑顔のある地域を目指して取り組みを進めてまいります。

今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

♡世代を超えて集った「好きやねん久宝寺まつり」

恒例行事「好きやねん久宝寺まつり」を、今年も久宝寺地区福祉委員会主催で、9月20日（日）午後、久宝寺小学校を会場として開催しました。

地域の団体・機関や有志の皆さまのご協力のもと、多彩な催しが行われ、当日は連休中にもかかわらず、多くの家族連れや子どもたちが訪れ、あちらこちらで笑顔で声を掛け合う姿が見られました。

体育館では、三世代交流の演芸大会を開催。

子どもたちによるダブルダッチやダンス、先生のバンド演奏、剣道演武、踊り、コーラス、などが披露され、最後の久宝寺中学生による吹奏楽の演奏では、力強い音楽が体育館いっぱいに響き渡り、来場の皆さんから、出演者に向けて温かな拍手が贈られました。

グラウンドには、かき氷や焼きそば・ジュースなどの模擬店が並び、多くの人が列をつくり、子どもたちは色とりどりのかき氷を頬張っていました。

消防団消防車の乗車体験も子どもたちに大人気で、目を輝かせて楽しんでいました。

校舎北館では、クラフトやバザーが行われました。

子どもたちは、地域の皆さんに教えてもらいながら、思い思いの作品づくりに夢中になっていました。

バザー会場でも、掘り出し物を探し手に取りながら、会話を楽しむ姿がありました。

また、「愛の献血」も実施され、多くの皆さまにご協力をいただきました。お祭りを楽しむだけでなく、地域を超えて、支え合いつながる活動にも関心を寄せていただき、心よりお礼を申し上げます。

これからも、地域の皆さまが集い、ふれあい、つながる場づくりを大切にしてまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。





♡秋晴れのもと地域がひとつ！「市民スポーツ祭」

秋の恒例行事となっている「市民スポーツ祭」を、10月11日（日）、久宝寺中学校のグラウンドで開催しました。

当日は、絶好の秋晴れに恵まれ、会場には町会ごとのテントが立ち並び、朝から多くの地域住民の皆さんが集まりました。

競技では、徒競走やリレーをはじめ、玉入れ、綱引きなど、個人で力を競う種目から、みんなで力を合わせる団体競技まで様々な種目が行われました。

競技が始まると、参加者は真剣な表情で競技に臨む一方、仲間を応援する声や歓声がグラウンドいっぱいにあふれていました。

子どもから高齢者まで、世代を超えてそれぞれに相応しい種目に参加し、また、一緒に競技を楽しみ、声を掛け合って応援し合い、秋の一日、スポーツを満喫している姿がありました。

ご参加、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。







	順位	地区名
地区対抗綱引き	1位	南一
	2位	高砂
	3位	老松
	4位	シャルム
地区対抗冒険リレー	1位	中北B
	2位	リーデンスA
	3位	南久A
	4位	老松
むかで競争	1位	クラフトサークルつくも
	2位	女子ソフトボールチーム
	3位	消防団



♡地域でつなぐ素敵なご縁！ 婚活14！

9月13日（日）、久宝寺小学校区まちづくり協議会主催で、「寺内町で婚活14」を顕証寺にて開催しました。

今回は、男性・女性それぞれ8名が参加され、昼食タイムをはさんでの企画で、寺内町にある2店舗のサンドイッチや米粉ワッフルを皆さんに召し上がっていただきました。

終始和やかな雰囲気の中、自己紹介や昼食タイム、恒例のボードゲームなどで盛り上がりました。

その後は、顕証寺本堂へ席を移して御前様の貴重なお話をお聴きし、あっという間の4時間半でした。

2組のカップルが成立、久宝寺がつなぐご縁で末永くお幸せになっていただくことを願っています。





♡「住民懇談会」を開催しました！

夏休みを間近にひかえた7月10日（金）、久宝寺コミュニティセンターで住民懇談会を開催しました。

子どもたちが、これからたくましく生きていくためには、学力だけではなく、やり抜く力や協調性・自己肯定感といった「非認知能力」を育むことが大切といわれています。

今回の懇談会では、講師として全国で教育改革に取り組まれている教育コンサルタント　徳留宏紀先生をお招きし、「生きる力を地域で育む」をテーマに、その大切さと子どもとの関り方を考え、地域全体で子どもたちを支えるヒントを学び共有しました。

【ご講話の要点】

・人生100年時代 どう生きてほしいですか？

これからは、V（Volatility：変動）／U（Uncerta Inty：不確実）／C（Complexity：複雑）／A（Ambiguity：曖昧）の時代になり、「人間力」で勝負せざるを得なくなる。

・「非認知能力」って？

あいさつする力／思いやる力／協力する力／やりとげる力／学び続ける力／あきらめない力／自分で考える力／まちがいから学ぶ力／前向きに取り組む力／自分を大切にする力など、これからも大切にしたい能力のことをいいます。

・勉強も大切だけれど、「人としての力」も大事に！

シカゴ大学の経済学者ヘックマンの研究によると、学力（認知能力）だけが高い人よりも、「非認知能力」が高い人は、将来の成果が大きく人生を豊かにするとされています。

・地域だからこそできる「非認知能力」の育み方！

非認知能力が育まれる時は、夢中になっている時／挑戦している時／ぶつかり合いや葛藤がある時／うまくいかなかった時／誰かと協力してやり遂げた時／自分の気持ちと向き合った時などといわれています。

・機会は 学校や家庭・地域生活の中に！



久宝寺地区の多彩な行事や活動を通してどのような「非認知能力」が育まれているのかという視点が必要です。

地域イベントは、子どもの学びを深める「体験学習」の場であり、子どもたちは、〝かっこいい〟大人を見ています。

【参加者のご感想やご意見】（抜粋・順不同）

・初めて聞く言葉「非認知能力」について、とても分かりやすく理解できました。

・具体的にお話をいただき、どのような力が育てられたかを振り返ると共に、次に活かしていきたい。

・人生を豊かに過ごすために、どんなことが糧になるかを教えていただけた。

・特別な能力ではなく、日常生活の中で育まれていくことであることがよく理解できた。

・自分が子育て真っ最中ということもあり、自分を含めて勉強させていただきました。

・かっこいい大人、年寄りになれたらと。

・生活上のいろんなことを非認知能力の視点から捉えて接していこうと思いました。

・テストの点数がとても気になりますが、生きる力も大切だと改めて感じました。

・ボランティア活動へのエネルギーになり、エールを送っていただいたと受け止めました。

など、多くのご感想やご意見が寄せられました。

久宝寺地区で取り組んでいる様々なイベントや活動を「非認知能力」という視点で振り返るとともに、「開催する行事」と同時に、「住民同士・子どもたちと関わり育ち合う行事」へのヒントが得られた住民懇談会になりました。

♡地域で育つ　子どもたちの力！

～今年後半の活動を振り返って～

◇グラウンドに子どもたちの笑顔！「校庭開放」

今年の3月14日（土）、5月9日（土）に続き、6月13日（土）午前中、久宝寺地区自治振興委員会や福祉委員会関係団体の協力のもと、久宝寺小学校グラウンドで「校庭開放」を実施しました。

各回とも天候に恵まれ、それぞれ100名を超える子どもたちが、大縄跳び・ドッジボールやゴム飛びなどでグラウンドいっぱいに元気に遊び、歓声が校舎にこだましました。



昨今は、地域でも公園や空き地・街角で、ボール遊びなどで子どもたちが仲間と一緒に自由に遊ぶことのできる環境が減り、遊びの機会が制限されつつあります。

思いっきり体を動かし、心身の成長と共に、学校生活と離れて、仲間同士の交流を図る機会になりました。

◇みんなで思いっきり！「ドッジボール大会」

6月21日（日）午前中、久宝寺地区育成会（こども会）の主催で、久宝寺小学校のグラウンドで「ドッジボール大会」を行いました。

子どもたちが思う存分ボールを追いかけ、思いっきり投げ、必死に逃げ回りながら、その時に知り合ったばかりの仲間と一緒に遊ぶ場です。

当日は、元気いっぱいの子どもたちが集まり、学年や年齢の違いを超えて、みんなで汗を流しました。



試合が始まると、みんな真剣そのもの、ボールを投げる声や逃げ回る声がグラウンドに響いていました。

そこには、勝敗だけではなく、ボールを当てられて悔しがったり、友達を応援したり励まし合ったりする姿がありました。

◇みんなで遊んで学んで！「るんるん教室」

「るんるん教室」は、福祉委員会支援のもと、地域の有志で構成する「久宝寺地区放課後子ども教室運営委員会」が、遊びや文化活動を通して子どもたちの豊かな心を育むことを目的とした活動です。

週日の放課後に、午後2時半から3時半までの一時間、久宝寺小学校の体育館や多目的室で実施しているもので、本年度もこの11月までに4回開催しました。（台風のため一回中止になっています。）

体育館では、「バドミントン」「ゴム跳び」「ボール遊び」や「昔遊び」、また多目的室などでは「将棋」「オセロ」「クラフト」「読書」「図画」「作法」や「文字遊び」を、委員会メンバーの指導で行っています。

子どもたちにとっては、学校の授業などでは馴染みのない珍しい講座もあり、毎回、和気あいあいと熱心に取り組んでいる姿があります。

放課後の安全な居場所、委員の大人たちにとっては元気をもらえる機会として、世代を超えて触れ合える場となっています。





◇みんなと過ごした夏の思い出！「校庭キャンプ」

夏休み中の8月22日（土）午後4時から23日（日）にかけて、久宝寺地区育成会（こども会）と久宝寺小学校区まちづくり協議会との共催で、久宝寺小学校で「校庭キャンプ」を実施しました。

子どもたちや保護者・地域の皆さま約250名が参加しての開会式、その後は、カレーづくりや飯盒炊さん、防災に関するゲームや熱中症セミナーを行いました。夜には、キャンプファイヤーの炎や暗やみに広がる花火に、みんな見入っていました。

泊りの5・6年生は、北校舎での肝試しで怖いながらも楽しい時間を過ごし、一夜の生活を共にしました。

身近な環境での集団活動を通して、自主性や協調性を育てる機会になったと同時に、大切な夏の思い出になったことでしょう。



◇育てる大切さを学ぶ！「こども菜園」

校区まちづくり交付金を活用して、旧久宝寺幼稚園の園庭に「こども菜園」を5月に開設しました。

菜園では、「サツマイモ」の苗を植え、その後、この夏の猛暑にも耐えて順調に育ちました。

水やりなどを通して、子どもたちに自然との触れ合いや関心、育てることの大切さや「食」への感謝の意識を醸成することを目的としています。

本紙がお手元に届く頃には、すでに収穫が終わっていると思われますが、収穫したサツマイモは、今後の行事の際にふかしてお配りする予定です。

